

平成18年1月25日

福島第一原子力発電所および福島第二原子力発電所
建物・構築物のコンクリートの健全性確認試験結果について

福島第一原子力発電所および福島第二原子力発電所の建物・構築物の建設に用いたコンクリート用骨材の試験成績書がねつ造されている等の報道を受け、事実関係を調査した結果、骨材会社が試験成績書を改ざんしていたことが確認されましたが、コンクリートの健全性は確保されていることを確認し、原子力安全・保安院に報告いたしました。

(平成16年10月22日お知らせ済み)

その後、原子力安全・保安院から、念のため、コンクリートの長期的な健全性の確認のため、建物および構築物における促進膨張試験^{※1}および圧縮強度試験^{※2}を実施するよう指示がありました。この指示に基づき、試験を実施したところ、それぞれ基準値を満足することを確認し、福島第一原子力発電所および福島第二原子力発電所の建物および構築物のコンクリートについて、長期的にも健全であることを確認した結果をとりまとめ、平成18年1月25日に、原子力安全・保安院へ報告いたしました。

以 上

※1 促進膨張試験

コンクリートのアルカリ骨材反応の起こり難さを調べる試験で、コンクリートコアをアルカリ骨材反応が起こりやすい環境下に置き、膨張率を計測する試験。

※2 圧縮強度試験

コンクリートの圧縮強度を調べる試験で、コンクリートコアに圧縮強度試験機を用いて荷重を加え、強度を計測する試験。

なお、今回の試験に用いたコンクリートコアは、原子力安全・保安院から指定された部位により採取しており、その採取にあたっては、原子力安全・保安院と第三者機関（財団法人 建材試験センター）もしくは第三者機関の立ち会いのもとで実施しております。